

1. 令和5年度 事業結果概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水産資源について、琵琶湖栽培漁業センター（山田筏種苗生産施設を含む）、琵琶湖周辺の水田および人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に努めた。

ホンモロコの資源量の増加傾向は継続している状況に対して、ニゴロブナの資源状況は低位であり、令和6年の春季漁期においては水域によっては不漁との声もあがった。また、アユについては、令和5年秋季の天然産卵量が約15億粒と平年の20%に留まり、人工河川への追加放流が行われたが、アユ資源状況は厳しく令和5年12月の早期エリ漁はなんとか需要を満たしたが、以降の漁獲は低調に推移しており、資源動向に注意が必要な状況となっている。

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

1. ふ化仔 22,836 千尾を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田 567 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長 26.3mmに成長した稚魚 9,112 千尾を琵琶湖へ流下させた。（国交付金、県補助事業）
2. 県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 4,075 千尾を5月に主に赤野井湾周辺の水田 101 反に放流した。調査の結果、約1か月後の中干し時に 1,157 千尾が流下したと推定された。（県受託事業）
3. 体重 20.7g の大型種苗 969 千尾を栽培漁業センターおよび草津市北山田地先筏施設で生産し、10月から12月にかけて琵琶湖全域に放流した。（国交付金、県補助事業）
4. 体重 21.7g の大型種苗 76 千尾を滋賀県漁業協同組合連合会より購入し、10月に琵琶湖北湖に放流した。（独自事業、一部寄付金充当）
5. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に ALC 標識を付け放流した。2月から5月に漁獲魚の標識調査を行った。（国交付金、県補助事業）
6. 各種団体の放流用種苗 1,537 千尾を生産した。（独自事業）
7. 水産試験場の試験研究のため、3種類の標識を付けた 20mm 種苗をそれぞれ、102.7 千尾を近江八幡市牧地先に、86.3 千尾を守山市赤野井地先に、223.4 千尾を長浜市延勝寺地先に合計 412.4 千尾生産・放流した。（県委託事業）

	実績	計画
1. 水田放流(2 cm種苗流下数)	26.3mm 9,112 千尾	20.0mm 8,000 千尾
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm 4,075 千尾	5.0mm 4,000 千尾
3. 大型種苗生産放流	20.7g 969 千尾	20.0g 900 千尾
4. 大型種苗購入放流	21.7g 76 千尾	20.0g 75 千尾
5. 標識調査(混獲率(調査尾数)) 北湖漁獲物 南湖漁獲物	31.9% (796 尾) 63.1% (265 尾)	
6. 放流用種苗の生産	1,537 千尾	2,000 千尾
7. 試験研究用標識種苗生産放流	412.4 千尾	600 千尾

(2) ホンモロコ増殖事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

1. 主に南湖周辺水田にふ化仔魚 2,370 千尾放流した。(独自事業)
2. 各種団体の放流用種苗 100 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1. 南湖周辺水田放流	5.0mm 2,370 千尾	5.0mm 2,000 千尾
2. 放流用種苗の生産	5.0mm 100 千尾	—

(3) 人工河川管理運用事業 (県受託事業)

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

1. 8月下旬から9月上旬にかけて養成親魚 11 トンを滋賀県淡水養殖漁業協同組合から購入し、安曇川人工河川に放流した。
2. 9月上旬から9月中旬にかけて天然親魚 8.9 トンを特別採捕し、安曇川人工河川、近隣の常水河川に放流した。

	実績	計画
1. 養成親魚放流	11 トン	11 トン
2. 天然親魚放流	8.9 トン	8.0 トン

*R5 年度の流下ふ化仔魚尾数 38.2 億尾

(4) 湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、適度な水草や多様なプランクトンにより育まれる豊かな琵琶湖の生態系を保全するため以下を行った。

・ワタカ

1. 水産多面的機能発揮対策事業（環境保全型魚類の放流〈水草抑制〉）で行った種苗の放流効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。（受託事業）
2. 水産多面的機能発揮対策事業（環境保全型魚類の放流〈水草抑制〉）を行う活動組織および北部流域下水道事務所等の放流用種苗 102 千尾を生産提供した。（独自事業）

	実績	計画
1. 標識調査（混獲率(調査尾数)）	90.7% (117 尾)	
2. 放流用種苗の生産提供（ふ化仔魚）	102千尾	100千尾

・ゲンゴロウブナ

1. 水産多面的機能発揮対策事業（環境保全型魚類の放流〈水草抑制〉）で行った種苗の放流効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。（受託事業）
2. 民間団体の放流用種苗を 110 千尾生産提供した。（独自事業）

	実績	計画
1. 標識調査（混獲率(調査尾数)）	0% (7 尾)	
2. 放流用種苗の生産提供（ふ化仔魚）	110千尾	100千尾

(5) 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および自然のままの産卵繁殖場を保全管理することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

1. 沿岸漁業整備開発事業により設置された増殖場および南湖の砂地造成漁場(22 箇所)について、施設の機能維持と湖上事故防止のため、施設の破損や集魚状況等の確認、標識灯太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採等を行った。（県受託事業）
2. 水産業および漁村の有する多面的機能の発揮に資する活動を推進することを目的として設置された協議会の運営経費の管理を行うとともに活動組織への交付金を交付した。（受託事業）
3. 琵琶湖においてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、長浜市、彦根市、東近江市、近江八幡市、草津市、野洲市および高島市の計 7 地区の産卵繁殖場および魚のゆりかご水田水域において親魚の遡上産卵、仔稚魚の生育状況調査や、水産試験場が

行う簡易堰揚げ水路によるニゴロブナの繁殖促進を図る「再生産回復調査研究」への協力をを行った。(独自事業)

	実績	計画
1. 沿整増殖場等管理点検	22 箇所	22 箇所
2. 水産多面的機能発揮対策協議会	会計事務の受託	会計事務の受託
3. 産卵繁殖場の調査	7 地区	7 地区

(6) 水産加工業振興対策事業 (独自事業)

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。

1. 「水産加工業振興対策資産」2 億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。
(貸付期間 令和 4 年 10 月～令和 7 年 9 月まで)

	実績	計画
1. 水産加工業協同組合資金貸付額 (利率)	2 億円 (利率 0.025%)	2 億円 (利率 0.025%)

(7) 情報提供事業 (独自事業)

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。

1. 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。
2. インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake>

	実績	計画
1. 協会ニュース発行	150 部	150 部
2. ホームページ	随時更新	随時更新

令和5年度 事業結果の附属明細

1 ニゴロブナ

表1 ニゴロブナの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数(千尾)	体型	尾数(千尾)	体型
水田放流	令和5年5~6月	琵琶湖一円	9,112	26.3mm	2,736	26.3mm
	令和5年5月	赤野井湾周辺	4,075*1	5.0mm	4,075*1	5.0mm
生残率解明試験放流	令和5年6月	牧地先	102.7	0.35g	102.7	0.35g
	令和5年6月	赤野井地先	86.3	0.38g	86.3	0.38g
	令和5年6月	延勝寺地先	223.4	0.91g	223.4	0.91g
大型種苗	令和5年9~12月	南湖	266.5	20.3g	115.1	20.4g
	令和5年10~11月	北湖	704.0	20.9g	166.5	20.6g
	令和5年10月(購入)	北湖	75.7	21.7g		
小計			1046.2	20.8g	281.6	20.5g

*1; ふ化仔魚数。2cmサイズの流下尾数は1,157千尾

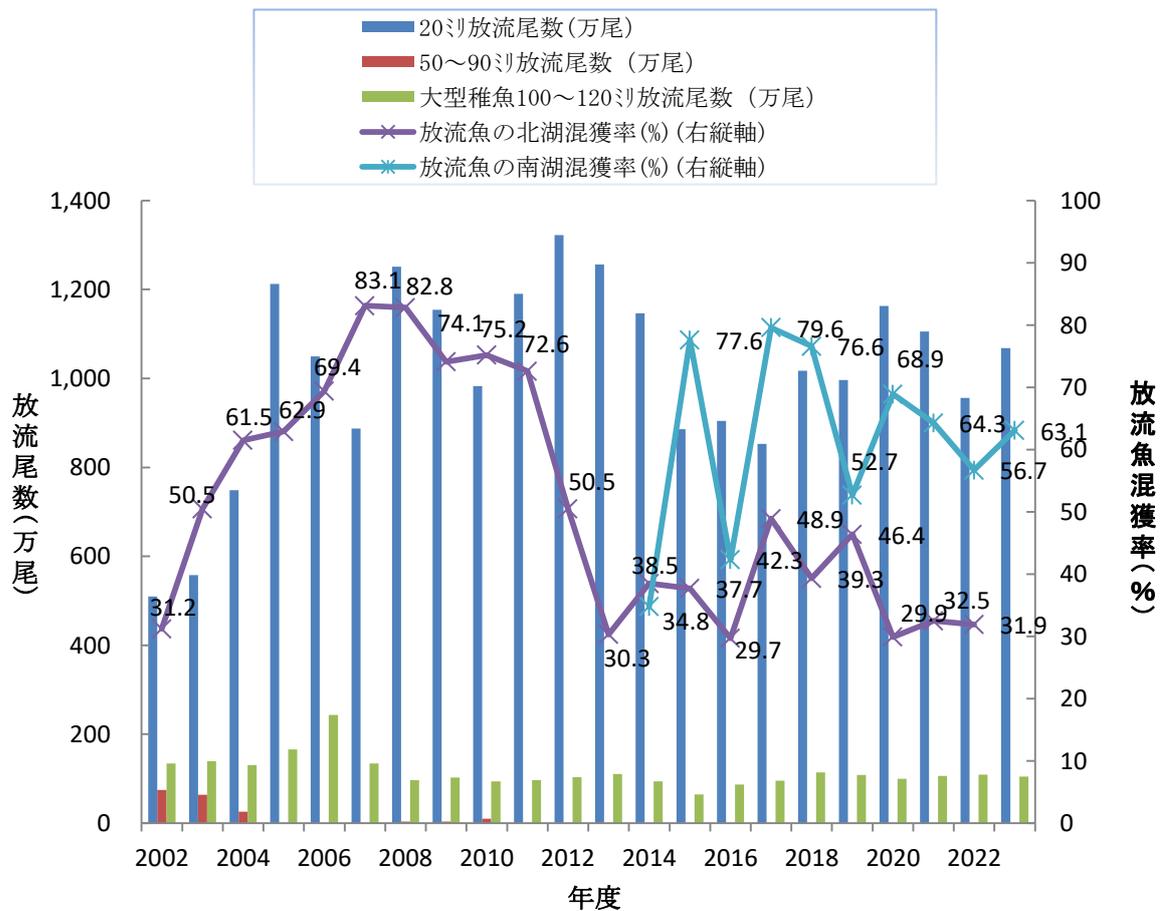


図1 ニゴロブナの年度別放流尾数(万尾)及び放流魚混獲率(%)の推移

2 ホンモロコ

表2 ホンモロコの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数 (千尾)	体型	尾数 (千尾)	体型
水田放流	令和5年5月	南湖周辺	2,370	5.0mm		

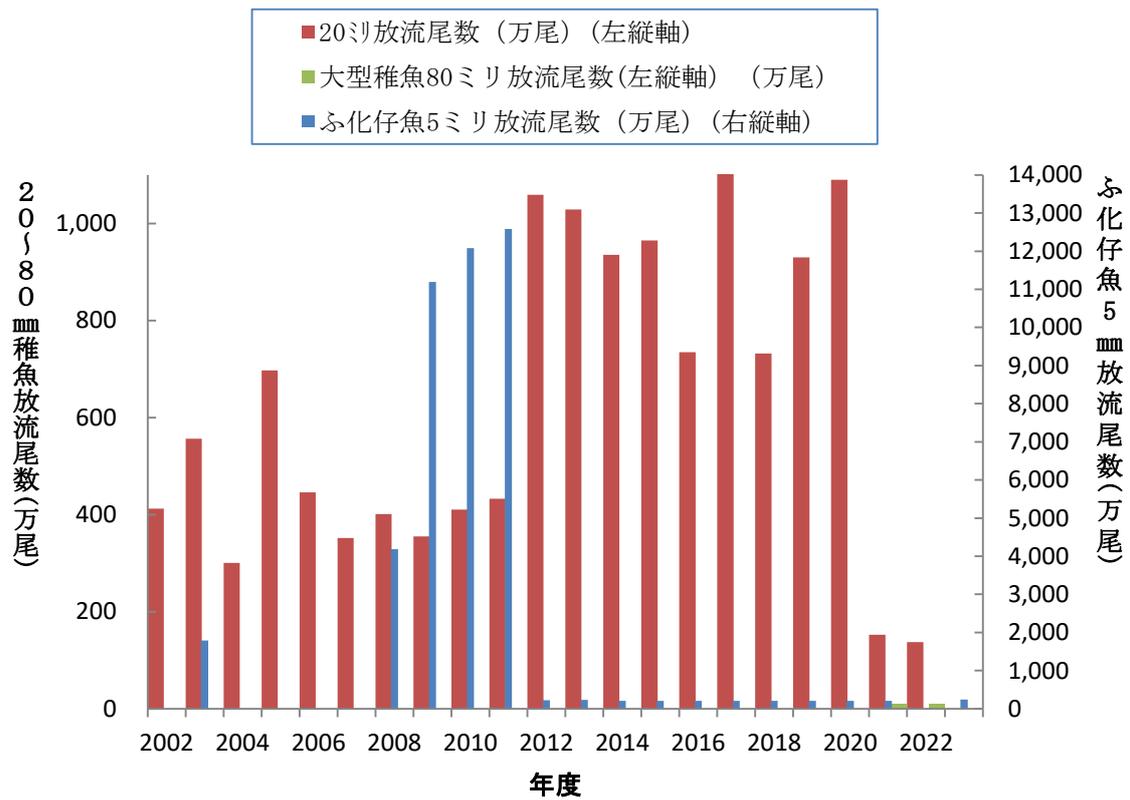


図2 ホンモロコの年度別放流尾数(万尾)の推移

3 アユ

表3 養成アユ親魚の放流結果(安曇川人工河川)

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
8/25	1,000	30.3	33.0	17.6	50.6	1区
8/28	1,000	31.3	32.0	17.8	49.2	1,2区
8/29	2,000	33.1	60.5	15.7	50.7	2,3区
8/30	1,000	27.5	36.4	16.6	51.9	4区
8/31	1,500	76.9	19.5	18.4	48.0	4,5区
9/2	1,500	57.0	26.3	19.2	47.9	5,6区
小計	8,000	256.0	31.2	17.8	49.2	
9/7	500	10.3	48.4	19.1	55.6	7区
9/8	500	12.7	39.4	17.8	54.8	8区
9/9	1,000	37.9	26.4	19.7	47.2	7区
9/11	1,000	20.0	49.9	19.5	51.9	8区
小計	3,000	80.9	37.1	19.2	50.6	
合計	11,000	337.0	32.6	18.2	49.5	

* 雌親魚の生殖腺重量比

表4 天然(特採)アユ親魚の放流結果

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	個体重 (g)	熟度* (%)	雌比 (%)	放流区画
9/7-9/13	8,132	739.3	11.0	15.5	51.9	安曇川人工河川 9-13区
9/13	740	69.8	10.6	15.0	58.0	近隣河川(田川)
合計	8,872	809.1	11.0	15.5	52.4	

* 雌親魚の生殖腺重量比

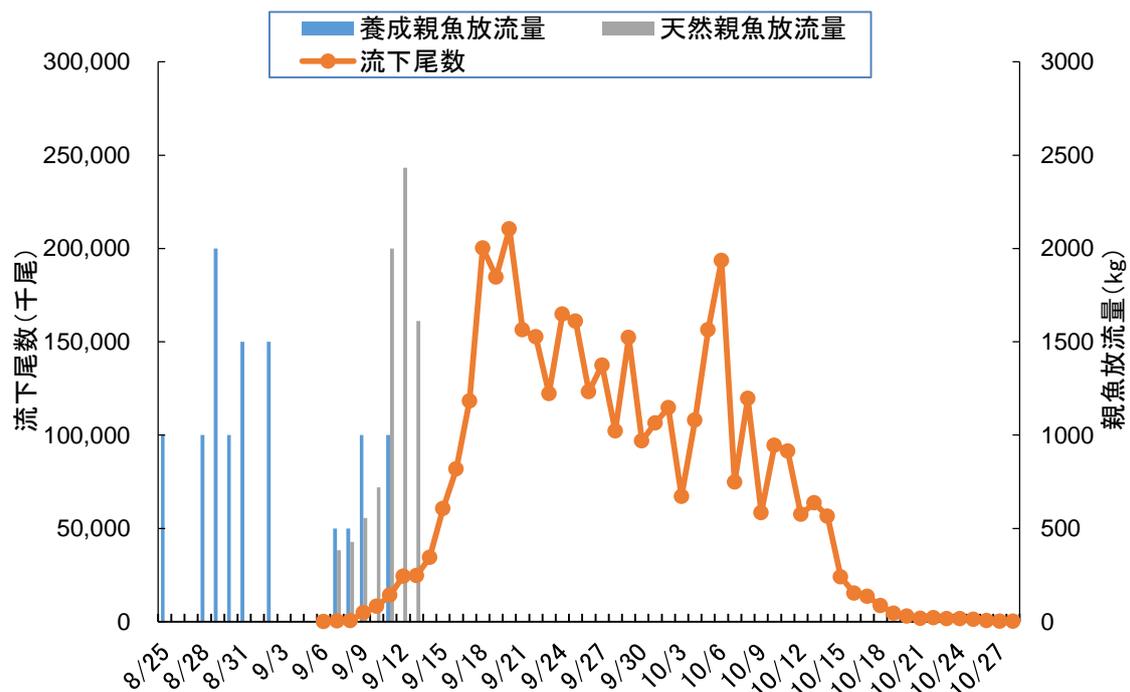


図3. 安曇川人工河川下流化仔魚数の推移

表5 流下ふ化仔魚数調査結果

場所	親魚区分	親魚放流量 (kg)	雌親魚量*1 (kg)	流下仔魚数*2 (百万尾)	流下率*3 (%)	
					本年度	平年値*4
安曇川人工河川	養成親魚	11,000	5,500	2,288	41.6	41.6
同	天然親魚	8,132	4,066	1,530	37.6	31.0
計		19,132	9,566	3,818	39.9	39.4

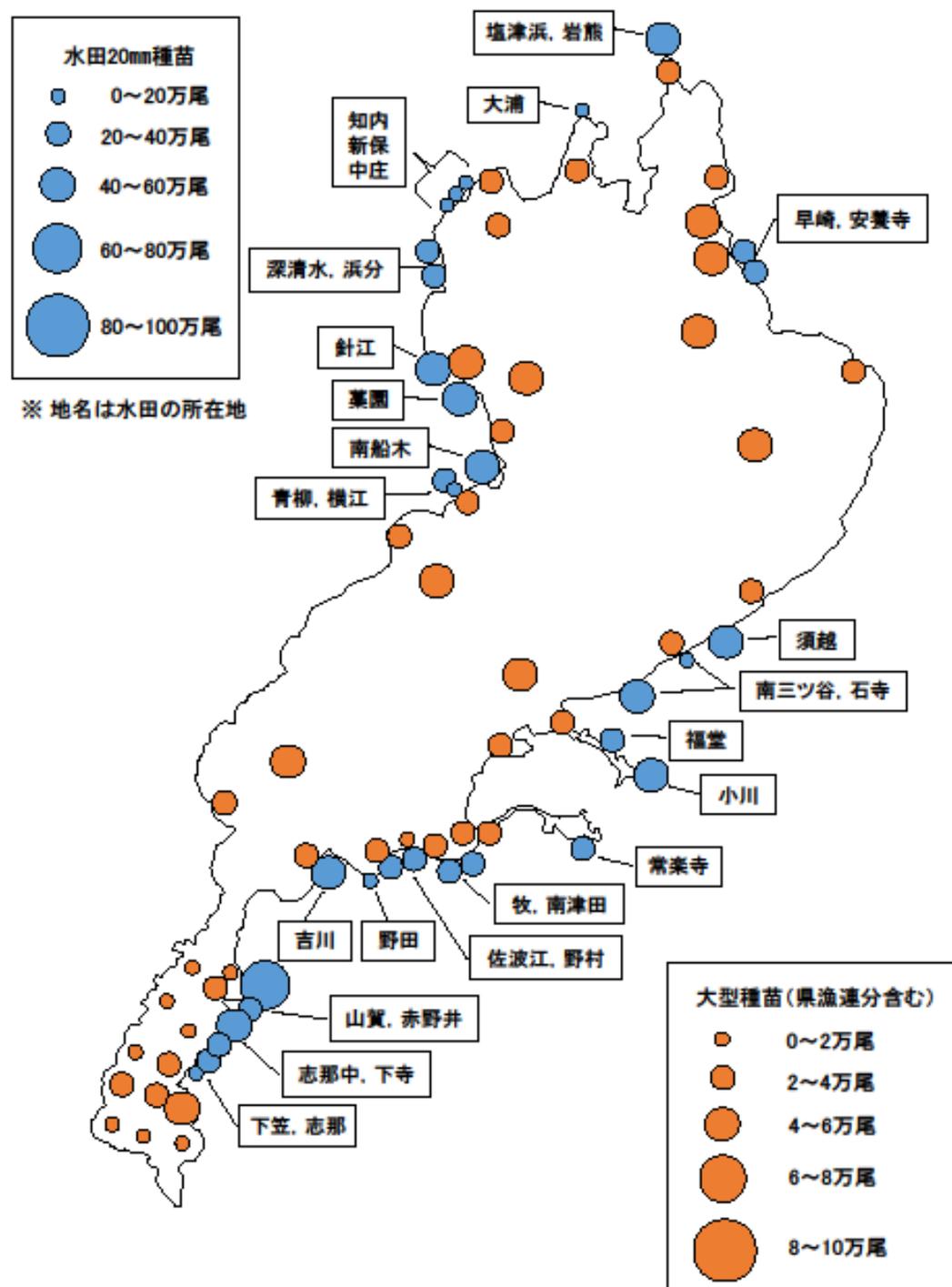
*1 雌重量比50%とする

*2 養成親魚および天然親魚由来の仔魚数は推定値

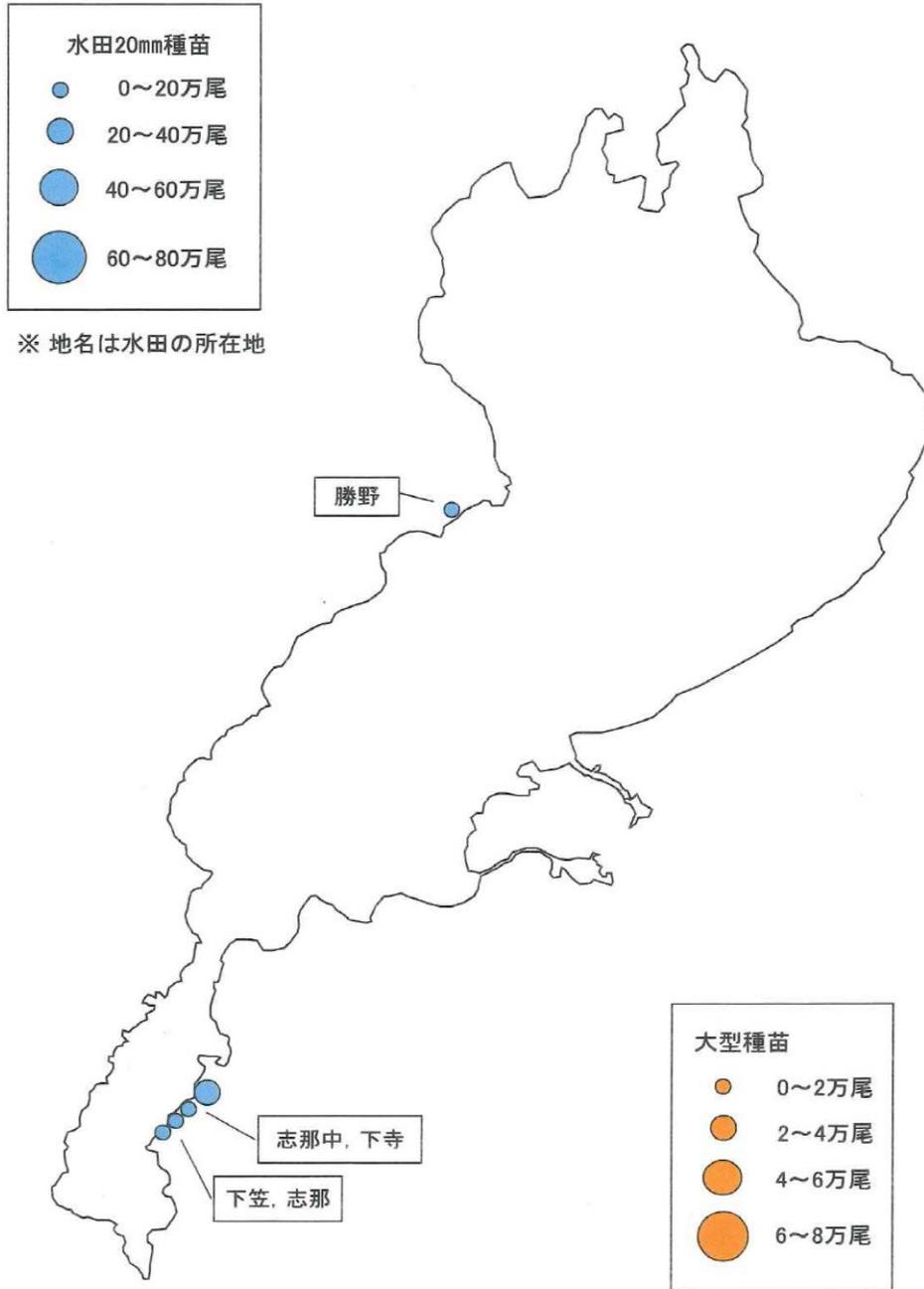
*3 流下仔魚数／雌親魚の推定抱卵数(g体重当り1,000粒とする)

*4 過去10年間の平均値(2018年を除く)

令和5年度 ニゴロブナ放流場所・放流尾数



令和5年度 ホンモロコ放流場所・放流尾数



貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	1,486,654	2,059,986	-573,332
未収金	5,170,200	3,140,975	2,029,225
流動資産合計	6,656,854	5,200,961	1,455,893
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
温水魚資源対策積立資産	734,120,879	757,720,879	-23,600,000
水産加工業振興対策積立資産	200,000,000	200,000,000	0
鮎資源対策積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	19,134,620	18,126,560	1,008,060
特定資産合計	963,255,499	985,847,439	-22,591,940
(3) その他固定資産			
建物	243,986,375	243,986,375	0
構築物	321,936,405	321,936,405	0
車両運搬具	2,919,624	2,919,624	0
什器備品	106,396,323	106,396,323	0
船舶	7,700,000	7,700,000	0
減価償却累計額	-621,375,861	-608,875,067	-12,500,794
電話加入権	257,227	257,227	0
その他固定資産合計	61,820,093	74,320,887	-12,500,794
固定資産合計	1,036,075,592	1,071,168,326	-35,092,734
資産合計	1,042,732,446	1,076,369,287	-33,636,841
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,466,903	4,113,731	-646,828
預り金	541,731	515,939	25,792
賞与引当金	2,165,231	0	2,165,231
流動負債合計	6,173,865	4,629,670	1,544,195
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,134,620	18,126,560	1,008,060
固定負債合計	19,134,620	18,126,560	1,008,060
負債合計	25,308,485	22,756,230	2,552,255
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	955,120,879	978,720,879	-23,600,000
(うち基本財産への充当額)	11,000,000	11,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	944,120,879	967,720,879	-23,600,000
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	62,303,082	74,892,178	-12,589,096
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	1,017,423,961	1,053,613,057	-36,189,096
負債及び正味財産合計	1,042,732,446	1,076,369,287	-33,636,841

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[24,200]	[24,200]	[48,400]
基本財産受取利息	24,200	24,200	48,400
特定資産運用益	[202,802]	[2,580,679]	[2,783,481]
特定資産受取利息	202,802	2,580,679	2,783,481
受取補助金	[24,750,000]	[0]	[24,750,000]
ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金(県)	24,750,000		24,750,000
受取受託費	[54,637,200]	[0]	[54,637,200]
ニゴロブナ赤野井種苗放流事業受託費	3,244,000		3,244,000
人工河川管理運用事業受託費	41,470,000		41,470,000
種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費	400,000		400,000
沿整増殖場管理点検事業受託費	6,173,200		6,173,200
水産多面的機能発揮協議会運営事業受託費	850,000		850,000
ニゴロブナ生存率向上解明試験魚生産放流事業	2,500,000		2,500,000
受取負担金	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
受取分担金	3,000,000		3,000,000
受取寄付金	[24,900,000]	[0]	[24,900,000]
受取寄付金額	1,300,000		1,300,000
受取寄付金振替額	23,600,000		23,600,000
雑収	[3,596,945]	[0]	[3,596,945]
受取利息	69		69
雑収	3,596,876		3,596,876
経常収益計	111,111,147	2,604,879	113,716,026
(2) 経常費用			
事業費	[123,700,243]	[0]	[123,700,243]
役員報酬	3,357,605		3,357,605
給料手当	23,860,197		23,860,197
臨時雇賃金	3,178,202		3,178,202
福利厚生費	4,989,758		4,989,758
旅費	120,132		120,132
通信費	303,477		303,477
原材料費	30,475,747		30,475,747
消耗品費	2,717,810		2,717,810
秋穫魚購入費	3,000,000		3,000,000
修繕費	5,013,620		5,013,620
印刷製本費	0		0
燃料費	924,894		924,894
光熱水料費	10,556,381		10,556,381
賃借料	3,022,471		3,022,471
保険料	634,032		634,032
租税公課	204,800		204,800
支払負担金	2,230,796		2,230,796
手数料	42,724		42,724
委託費	12,211,083		12,211,083
衛生費	39,592		39,592
消費税	1,333,366		1,333,366
退職金	982,859		982,859
賞与引当金繰入額	2,064,602		2,064,602
減価償却費	12,436,095		12,436,095

科 目	公益目的会計	法人会計	合 計
管 理 費	[0]	[2,604,879]	[2,604,879]
員 報 酬		751,195	751,195
給 料 手 当		611,916	611,916
福 利 厚 生 費		216,965	216,965
会 議 費		6,322	6,322
交 際 費		27,280	27,280
旅 費		92,528	92,528
通 信 運 搬 費		12,346	12,346
消 耗 品 費		11,761	11,761
修 繕 費		0	0
印 刷 製 本 費		0	0
燃 料 費		480	480
光 熱 水 料 費		9,051	9,051
賃 借 料		10,549	10,549
保 險 料		788	788
租 税 公 課		1,200	1,200
支 払 負 担 金		174,445	174,445
手 数 料		3,870	3,870
嘱 託 料		454,300	454,300
委 託 費		20,048	20,048
衛 生 費		1,996	1,996
雑 費		7,310	7,310
退 職 給 付 費		25,201	25,201
賞 与 引 当 金 繰 入 額		100,629	100,629
減 価 償 却 費		64,699	64,699
経常費用計	123,700,243	2,604,879	126,305,122
評価損益等調整前当期経常増減額	-12,589,096	0	-12,589,096
評価損益等計	0		
当期経常増減額	-12,589,096	0	-12,589,096
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-12,589,096	0	-12,589,096
一般正味財産期首残高	74,892,178	0	74,892,178
一般正味財産期末残高	62,303,082	0	62,303,082
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-23,600,000		-23,600,000
当期指定正味財産増減額	-23,600,000		-23,600,000
指定正味財産期首残高	978,720,879	0	978,720,879
指定正味財産期末残高	955,120,879	0	955,120,879
III 正味財産期末残高	1,017,423,961	0	1,017,423,961

財産目録

令和6年 3月31日現在

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	71,822
普通預金	滋賀銀行下笠代理店	運転資金として	1,381,472
	京都信用金庫草津支店	運転資金として	33,360
			0
		〈現金・預金計〉	1,486,654
未収金	ニゴロブナ赤野井放流事業受託費	滋賀県農政水産部水産課	194,000
	ニゴロブナ生存率向上条件解明試験魚	〃	2,500,000
	生産放流事業	〃	960,000
	滋賀県人工河川管理運用事業受託費	〃	266,200
	沿整増殖場管理点検事業受託費	〃	850,000
	水産多面的機能発揮対策協議会運営費事業受託費	滋賀県水産多面的機能発揮協議会	400,000
	水産多面的ワタカ放流効果調査費事業受託費	南湖北部環境保全活動組織	5,170,200
		〈未収金計〉	6,656,854
流動資産合計			6,656,854
(固定資産)			
基本財産			
投資有価証券	投資有価証券	基本財産の運用益は公益目的事業費および管理費に使用している。	10,000,000
	滋賀県平成27年度第1回公募公債	野村証券(株) 大津支店	1,000,000
	滋賀県平成28年度第2回公募公債	野村証券(株) 大津支店	
		50%を公益目的事業費、50%を管理費に充てている。	11,000,000
		〈基本財産計〉	
特定資産			
温水魚資源対策積立資産	第18回NTTファイナンス(NTT保証付き)	SMBC 日興証券(株) 京都支店	734,120,879 (100,000,000)
	滋賀県平成27年度第1回公募公債	野村証券(株) 大津支店	(80,000,000)
	滋賀県令和3年度第1回公募公債	〃	(100,000,000)
	滋賀県平成27年度第1回公募公債	滋賀銀行下笠代理店	(100,000,000)
	第23回三菱UFJファナショナルグループ社債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 京都支店	(100,000,000)
	第26回三菱UFJファナショナルグループ社債	〃	(100,000,000)
	大口定期 2口	京都信用金庫草津支店	(90,000,000)
	決済用普通預金	滋賀銀行下笠代理店	(64,120,879)
水産加工業振興対策積立資産	水産加工業活性化資金 貸付金	滋賀県水産加工業協同組合	200,000,000 (200,000,000)
鮎資源対策積立資産	滋賀県平成27年度第1回公募公債	野村証券(株) 大津支店	10,000,000 (10,000,000)
退職給付引当資産	普通預金	滋賀銀行下笠代理店	19,134,620 (9,134,620)
	島根県令和5年度第3回公募公債	野村証券(株) 京都支店	(10,000,000)
		〈特定資産計〉	963,255,499
その他固定資産			
建物	栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	243,986,375 (88,750,000)
	栽培漁業センター・生産棟・揚水機場	〃	(153,000,000)
	栽培漁業センター・車庫・倉庫	〃	(2,236,375)
減価償却累計額			-199,776,893

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
構築物	栽培漁業センター・取水施設	〃	321,936,405 (21,000,000)
	栽培漁業センター・養成池	〃	(156,879,705)
	栽培漁業センター・給排水施設等	〃	(58,646,300)
	筏 29基	草津市北山田町地先	(85,410,400)
減価償却累計額			-308,687,157
車両運搬具			2,919,624
	フォークリフト1台 自動車3台	草津市志那町字柿根1393-2 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
減価償却累計額			-2,919,620
什器備品			106,396,323 (6,758,000)
	管理棟内備品	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。
	生産棟内備品	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	揚水機(付帯設備含む)	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	ふ化水槽 10槽 ステンレス製水槽枠 1個	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	コンプレッサー 2台	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	ジェットウォッシャー 1台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	圧力式循環濾過器 24台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	船外機 1台	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	冷却機 5台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	自家発電機 6台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	活魚移送ポンプ	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	魚計量装置	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	アルテミア孵化水槽	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	工業用マシン	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	デスクトップパソコン	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
	VPPCA公益財団法人会計DX	〃	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。
減価償却累計額			-102,292,193
船舶	作業船4隻	草津市北山田町	7,700,000 (7,700,000)
減価償却累計額			-7,699,998

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
電話加入権	077-568-3451 他3台 安曇川人工河川 姉川人工河川 栽培漁業センター	高島市安曇川町北船木 長浜市南浜町 草津市志那町字柿根1393-2	257,227 (171,022) (86,205)
		公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。 公益目的保有財産で、公益目的事業および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事業、3%を管理業務としている。	
		〈その他固定資産計〉	61,820,093
固定資産合計			1,036,075,592
資産合計			1,042,732,446
(流動負債)			
未払金	沿整増殖場管理点検事業(委託費) " (振込手数料)	山田漁業協同組合他12漁協 滋賀銀行下笠代理店	600,100 6,215
	栽培センター 警備保障 人工河川 警備保障	セコム株式会社 セコム株式会社	50,196 40,156
	栽培センター電気代	関西電力㈱	285,525
	温水魚種苗生産放流事業(委託費) " (振込手数料)	山田漁業協同組合 滋賀銀行下笠代理店	320,000 330
	栽培センター電気工作物保安管理業務(委託費) 安曇川人工河川電気工作物保安管理業務(委託費)	スターエンジニアサービス(株) "	36,300 52,140
	姉川人工河川 " (振込手数料)	" 滋賀銀行下笠代理店	47,520 440
	栽培センター水道代	草津市上下水道課	4,697
	3月分生産補助員賃金 " (振込手数料)	滋賀県シルバー人材センター 滋賀銀行下笠代理店	85,020 440
	2月分出張旅費(ETC)	㈱滋賀ディーシーカード	800
	安曇川人工河川 産卵床ポンプ1台点検	滋賀工業㈱	484,000
	安曇川人工河川タイヤドーザー法定点検 タイヤ交換	近江ユニキャリア販売㈱ ㈱ブラザー商会	238,700 31,680
	軽バン自動車リース料 (滋賀480つ2072)	オリックス自動車㈱	19,250
	委嘱費(3月分)	㈱浅井計算事務所	33,000
	社会保険料(2.3月分)	草津年金事務所	553,728
	消費税	草津税務署	576,666
		〈未払金計〉	3,466,903
預り金	社会保険料(2.3月分)	役職員	540,481
	草津市勤労者福祉サービスセンター互助会費	職員	1,250
		〈預り金計〉	541,731
賞与引当金		職員の6月分賞与支給に備えたもの	2,165,231
流動負債合計			6,173,865
(固定負債)			
退職給付引当金		職員	19,134,620
		公益目的事業および管理業務に従事する職員の退職引当金である。	
		〈退職給付引当金計〉	19,134,620
固定負債合計			19,134,620
負債合計			25,308,485
正味財産			1,017,423,961

公益財団法人 滋賀県水産振興協会役員名簿(令和6年6月7日)

任期:令和6年6月7日から令和8年定時評議員会終結の時まで

任期:令和6年6月7日から令和10年定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名
理事長	江島宏治
常任理事	遠藤誠
理事	磯崎和仁
〃	奥村栄治
〃	奥村繁
〃	澤田宣雄
〃	戸田猛
〃	西森克浩
〃	横江久吉
監事	今井博章
〃	北脇芳和
〃	十二里和彦

役職名	氏名
評議員	浦谷忠司
〃	佐野高典
〃	嶋田義晴
〃	谷市郎
〃	中田佳恵
〃	藤井恒夫
〃	堀越昌子
〃	水上恒宣
〃	山中治